

限界にっぼん

第1部 福島が問う政府 ③

「住民が政策転換を迫った」

「限界にっぼん」の第1部は、福島の現状と今後の展望について、政府と住民の対話を描く。福島県民の生活は、震災以降、大きな変化を遂げている。政府は、被災者の生活再建と、福島県全体の復興を約束したが、現実には多くの課題が残っている。住民は、政府に対して、政策転換を迫っている。この対話を描くのが、「限界にっぼん」である。

住民が政策転換を迫った



「脱原発」を全会一致で決める。これは、福島県民の意思を反映している。政府は、この意思を尊重し、政策転換を行うべきである。住民は、政府に対して、政策転換を迫っている。この対話を描くのが、「限界にっぼん」である。

「脱原発」を全会一致で決める。これは、福島県民の意思を反映している。政府は、この意思を尊重し、政策転換を行うべきである。住民は、政府に対して、政策転換を迫っている。この対話を描くのが、「限界にっぼん」である。

「脱原発」を全会一致で決める。これは、福島県民の意思を反映している。政府は、この意思を尊重し、政策転換を行うべきである。住民は、政府に対して、政策転換を迫っている。この対話を描くのが、「限界にっぼん」である。

「脱原発」を全会一致で決める。これは、福島県民の意思を反映している。政府は、この意思を尊重し、政策転換を行うべきである。住民は、政府に対して、政策転換を迫っている。この対話を描くのが、「限界にっぼん」である。

「脱原発」を全会一致で決める。これは、福島県民の意思を反映している。政府は、この意思を尊重し、政策転換を行うべきである。住民は、政府に対して、政策転換を迫っている。この対話を描くのが、「限界にっぼん」である。

「脱原発」を全会一致で決める。これは、福島県民の意思を反映している。政府は、この意思を尊重し、政策転換を行うべきである。住民は、政府に対して、政策転換を迫っている。この対話を描くのが、「限界にっぼん」である。

「脱原発」を全会一致で決める。これは、福島県民の意思を反映している。政府は、この意思を尊重し、政策転換を行うべきである。住民は、政府に対して、政策転換を迫っている。この対話を描くのが、「限界にっぼん」である。

「住民が政策転換を迫った」